

## 令和7年度高島市総合教育会議第3回会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和8年3月11日（水）  
開会 午後1時30分 閉会 午後3時10分
- 2 開催場所 高島市役所 新館2階 教育委員会室
- 3 会議次第
  1. 開会
  2. 会議録署名委員の指名 橋本委員、高木委員
  3. 議題
    - (1) 第2期高島市教育大綱の改訂について
    - (2) 今後のスケジュール
  4. その他
    - (1) マキノ地域公立園の再編（統廃合）について
    - (2) 高島市乳児等通園支援制度（高島市こども誰でも通園制度）の実施について
- 4 出席者  
（構成員）  
今城市長、川島教育長、橋本教育長職務代理、高木教育委員、森教育委員、地村教育委員  
（市長部局）  
仲井政策部長、大森政策部次長、前川子ども未来部長、加藤子ども未来部次長、三家丸子ども未来部次長、廣部幼児保育課長  
（教育委員会事務局）  
赤水スポーツ振興部長、川原林教育指導部長、吉原教育総務部次長（社会教育課長取扱）、中川教育総務部次長（図書館長取扱）、野崎スポーツ振興部次長（国スポ・障スポ大会推進課長取扱）、保木教育指導部次長（学事施設課長取扱）、前田教育総務課長、林教育総務課参事
- 5 会議を傍聴した者 0人
- 6 議事の経過 別紙のとおり

## 議事の経過

議題の公開／非公開 全て公開

### 1. 開会

### 2. 会議録署名委員の指名

橋本委員、高木委員

### 3. 議題

#### (I) 第2期高島市教育大綱の改訂について

【説 明】 前田教育総務課長

資料 「新旧対照表」 1 ページから 9 ページまでの次の事項について説明

| 資料    | 大綱                           | 改訂内容                                         |
|-------|------------------------------|----------------------------------------------|
| 1 ページ | 表紙                           | 改訂年月を追記                                      |
| 2 ページ | 目次                           | 修正無し                                         |
| 3 ページ | 1 ページ<br>1 大綱の策定について         | 改定の趣旨を追記                                     |
| 4 ページ | 2 ページ<br>(2) 位置付け<br>2 期間    | 前ページから移動しレイアウト変更<br>実施期間の修正、表の修正             |
| 5 ページ | 大綱 3 ページ<br>3 体系図            | 修正無し                                         |
| 6 ページ | 大綱 4 ページ<br>4 基本方針<br>5 基本目標 | 修正無し                                         |
| 7 ページ | 大綱 5 ページ<br>目標 1 ③           | 少人数指導が少なくなり、小学校教科担任制が増えたことから、文言追記            |
| 7 ページ | 大綱 5 ページ<br>目標 1 ⑤           | 不登校や特別支援教育の視点を深化させるため⑤として追記<br>以降の番号を1つ繰り下げる |
| 7 ページ | 大綱 5 ページ<br>目標 1 ⑩           | 全小中学校で学校・地域連携カリキュラムを作成し、学校運営協議会で共有しているため文言追記 |

|       |                       |                                   |
|-------|-----------------------|-----------------------------------|
| 8 ページ | 大綱 6 ページ<br>目標 2 目標 3 | 修正無し                              |
| 9 ページ | 大綱 7 ページ<br>目標 4      | 修正無し                              |
| 9 ページ | 大綱 7 ページ<br>目標 5 ②    | 国スポ・障スポ大会での気運を生涯スポーツの振興に繋げるため文言修正 |

資料 「第2期高島市教育大綱（案）」に関するご意見の概要と事務局の考え方について説明

| 意見等の概要                                                                                                                                            | 教育委員会事務局の考え方                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今回の教育大綱が2年延長され、文言の訂正や追加がある。教育に直接関心があるのは保護者だと思うが、これからの高島市の教育のあり方をこのように修正していくという事は実際肌で感じにくい。直接教育に関わっている保護者からすると知らないという方もおられると思うが、周知方法について考えていただきたい。 | 教育大綱改訂については、市のホームページや広報たかしまで周知します。                                                                                                                                                                |
| 教育大綱を改訂するにあたって、高島市の小中一貫教育と地域とともにある学校づくりに向かっていることや、学校運営協議会の紹介などをホームページだけではなく紙面でも紹介してはどうか。                                                          | 教育大綱改訂については市のホームページや広報たかしまで周知します。<br>学校運営協議会の活動については、学校だよりなどで紹介をしております。引き続き活動内容が分かりやすいよう工夫を凝らします。<br>一方で、活動に参加していただいた市民の方から地域に広がっていくことも大事だと考えています。地域の活動に生徒が参加することも行っているため、活動が広がるよう引き続きご協力をお願いします。 |

#### 【意見等】

##### ○橋本委員

・少人数指導が少なくなって小学校の教科担任制が広まってきた。学校の実情に応じて実施される具体例を、学校管理者や担任の先生から保護者に知らしめていただきたいし、子どもに対してもアンケートなどをとりながら進めていっていただきたい。

・「高島市少年センター・あすくる高島」の存在など、教育行政として色々な分野に手を差し伸べていくということを周知し、安心して生きていていいんだ、学校や他のところで勉強できる機会はある

るんだ、社会は見捨てたもんじゃないんだ、というような気持ちを持ってもらえるように進めていただきたい。

#### ○高木委員

・学校運営協議会と保護者の心理的な距離がまだまだあると感じる。保護者と地域みんなでこの学校を良くしていきましょうという空気感やアットホームな雰囲気を、学校の先生などが作ってあげてほしい。

#### ○地村委員

・地域学校協働活動が、その活動内容だけではなくどういう意味合いを持って活動がされているのか、地域で時間の取れる方が学校に行って、その方のスキルを活かして子どもたちに多様な経験を与えることで、両者が盛り上がるという意味合いがあつての地域学校協働活動であるということを、市民の皆さんに説明すればより浸透するのではないか。

・小中一貫教育についても、私立の中高一貫学校とは違い、子どもたちをいかに多くの大人が関わり見てあげ推進されていることを、市民の方にお示しできたらより理解が深まるのではないか。

#### ○森委員

・「コミュニティ・スクール制度」や「小中一貫教育」というワードが聞き慣れない市民も多い。高島市全体で推進している取り組みを、市のホームページに載せるのも有効手段の一つだと思う。

#### ○川島教育長

社会の一員として、生きる力を身につけるのが学校教育だという思いがあり、確かな学力も必要であるし、豊かな人間性や社会性を身につけることも非常に大事なものだと思う。地域との繋がりを大事にし、地域に愛着を持って、将来地域に貢献しようとする人づくりの土台になるものを、学校教育の中で身につけてほしいという思いが強くあり、地域の方に入っていていただいて地域とともにある学校づくりを進めていく。そして高島は少人数の小中学校が多いので、小中一貫の9年間で教職員も一体となって子どもたちを見ていく。こういったことを積み重ねる中で、地域に愛着を持って、将来地域に貢献しようとする人づくりに繋がるのではないかという思いを持っている。

社会教育でも、子どもから大人が文化芸術関係やスポーツに取り組むということは、人生を豊かにし、人の感性を育てるという意味で非常に大切であると思う。取り組む中で精神的な安らぎが生まれたり、生きる喜びが出たり、感動が芽生えたり人と人のつながりが出来たり、人間らしく生きるための糧になるものが、文化財も含めた文化芸術スポーツであると思う。

心豊かな生活、これを実現するための環境づくりに努めていくことが、この教育大綱の基本としてうまく網羅され書かれている。細かい所については、毎年策定している高島の志の教育の中で補える。まだまだ周知が足りないという意見もあるが、これからも広く周知しうまく進められたらと思う。

#### 【採決】

提案された第2期高島市教育大綱の改訂については、賛成全員により承認された。

## (2) 今後のスケジュール

【説 明】 前田教育総務課長

|            |            |         |
|------------|------------|---------|
| 令和 8 年 4 月 | 政策調整会議     | 大綱改訂の報告 |
| 令和 8 年 4 月 | 高島市議会      | 大綱改訂の報告 |
| 令和 8 年 4 月 | 市ホームページで公表 | 大綱改訂の公表 |

【質疑等】 なし

## 4. その他

### (1) マキノ地域の公立園の再編（統廃合）について

【説 明】 加藤子ども未来部次長

資料 「マキノ地域公立園再編（統廃合）に関する説明会（令和 8 年 1 月 29 日開催）」により説明

【質疑等】

○森委員

統合されるこども園は、新小学校から距離的に近いのか。

○加藤子ども未来部次長

統合されるこども園は、マキノ支所の道を挟んだ北側となり、建設予定の小学校とは少し離れている。

○森委員

こども園の統合の話が出てきた時期と、小学校の統合の話が出てきた時期、地域の方に対して周知が始まった時期は同じようなタイミングか。

○三家丸子ども未来部次長

こども園の統合については、令和 4 年度から話が出てきた。それを受けて小学校の統合の話も並行して出てきたと思う。

○川島教育長

こども園の統合の話が進み令和 9 年度に統合という話が確定した段階で、こども園で一つになった学年がそのまま小学校に入れるようにということで、令和 10 年度統合という流れになった。

○加藤子ども未来部次長

保護者の感想だが、通園に関して心配する声があったが、大きな意見、反対するような意見はなかった。

○川島教育長

資料の中に、マキノ東こども園「を」、マキノ西こども園「に」統合という表現があるが、東こども園が西こども園に吸収されるのでは、とこだわるような保護者の方はいらっしやらなかったか。

○加藤子ども未来部次長

ご指摘いただいた件については、特に問題はなかった。どちらの園舎を使うかという部分で、東こども園の園舎より西こども園の園舎の方が規模が大きいので、あくしょん・ぷらんにもこのような表記になっていると推測する。

○地村委員

保護者説明会に来られた方が10数名であったということだが、市民の声を聞いたか、と言われた際にその人数ではエビデンスとして弱いと感じるがいかがか。

○前川子ども未来部長

令和5年度に全保護者に対して説明会を行っている。今回の説明会は、今現在3歳の子が年長になるときに統合する計画なので、3歳以下の子どもを持つ保護者を対象とした。前回説明が出来ていない方を対象に今回説明会を行ったところです。

○地村委員

割合でいうとどれくらいか。

○加藤子ども未来部次長

対象となる世帯の約半分ぐらいです。

○高木委員

新しいこども園が出来る周辺は、駐車場が少なくマキノ支所の方に車を停めて保護者の方が迎えに行っている。また、こども園や児童館はマキノ支所の裏のグラウンドに子どもたちを遊びに連れていく事もあり、道を横断する機会が多い。マキノのメタセコイア並木が人気で車の往来が多く、以前から危ないと思っていたが、今の説明を聞いてもっと危険になると感じた。実際接触事故を起こしている状況も見ている。リスクが高いと思うので、横断歩道を作るとか子どもたちがここを通るということを、ドライバーが分かりやすいように、改修工事をされる際にそういったところも解決していただきたい。

○加藤子ども未来部次長

付近は緩いカーブになっており、見通しが悪いということも聞いている。カーブミラーを設置するとか、こども園があるということを路面標示するなど、そういう対策も検討している。

## (2) 高島市乳児等通園支援事業（高島市こども誰でも通園制度）の実施について

【説 明】 廣部幼児保育課長

資料 「こども誰でも通園制度 高島市乳児等通園支援事業本格実施に向けた実施計画（案）および代用計画（案）の策定について（令和7年度第4回高島市子ども・子育て会議資料）」により説明

【質疑等】

○橋本委員

説明を聞いて資料を読んでも中タイメージしにくい。国がそこまで現場に難しいことを求めている目的は何か。

○廣部幼児保育課長

限られた環境の中で子どもたちがずっと過ごすことが、果たして、子どもの成長にとっていいのだろうか、というところから始まっている制度であると聞いている。地域全体で子育てをしていくという役割を担うのが、地域にある園であってほしいという国の願いもあり、そのような流れになっている。

○橋本委員

子どもにしても保護者にしても大人になるまでに必ずどこかの集団で生活することになるが、この制度が開始されると、子どもにとっては一番最初に経験する集団になる。自分の家庭の価値観と新しい価値観とが日々ぶつかり合っていく経験を、早い段階から積むことができる。保護者は、自分の経験もあるが、子どもが帰ってきた時の表情や仕草などで、今の時代と違うということをバージョンアップして、今の時代今の集団の様子を何とか上手くいくように、掴み取ろうとされるのでとてもいいことだと思う。保護者の方が、自分の子どもを通じて今の保育の世界とか学校の世界をよく理解し、親がどのようにサポートできるのかを学んでいけるのかを、関わる皆が考えていくと楽しく住みやすい集団になるのではと思う。

○地村委員

利用時間については、ひと月あたり10時間という国の基準があるということだが、一回で3時間利用しても月3回程度となる。子どもにとって月3回しか行かないので行き渋りの問題や保護者にとって育児負担の軽減になるのかということ。また、利用できる園が新旭のなのはな園に限定されるということで、利用者が遠方で片道30分かかる場合は、送迎の部分を除くと2時間だけの利用軽減にしかない。地理的、時間的な問題が生じるように思われる。高島市独自の時間設定は出来ないのか。

○廣部幼児保育課長

高島市独自の時間設定をすることも可能ではあるが、初めて取り組む事業となるので、まずは国の基準通りで始めてみようということになった。既に先行して試行で行っている市町のデータを見

聞きすると、10時間設定についても賛否両論あるとも聞いているので、今後の検討課題になると思う。利用対象についても満3歳未満で一旦終わりとしているが、市町独自の判断で年度末の3月31日までとすることも出来る。こちらもとりあえずは国の基準通りでスタートすることになる。満3歳未満で切るということは、誕生月で不公平感が若干出てくることになる。こういったことも今後制度が変わる可能性もあると思うが、課題として捉えている。

あとは地理的、時間的な問題については、この事業はどの園でも、あるいは商業施設の一角であっても、福祉関係児童関係の施設であっても実施可能な事業。今後、高島市内で事業者が取り組みに手を挙げていただけると地理的、時間的な問題も解決すると思うので、引き続き民間園などに取り組むことについて働きかけをしたいと思う。ただ、やりたいけど今は人がいないということも聞いているのでこちらも検討課題であると認識している。

#### ○森委員

母親からすると子育てで子どもと一対一で24時間一緒という思いプレッシャーからも解放されるし、一時的に社会に出ることが出来るという制度は非常にいいと思うので、ぜひアピールして上手く進めていただきたい。

#### ○橋本委員

利用者の面談を通じて、保護者の方が何を求めているのか、その子の特質をしながら保育園や幼稚園、小学校、中学校に繋ぐ際により良い支援の仕方を探れる良い機会になると思う。

#### ○高木委員

子どもの育ちのための事業ということであるが、やはり保護者さんを温かく受け入れてほしい。高島市で安心して子育てが出来るように、「高島市にいて良かった。ここで預けて良かった。」と思って保育園幼稚園小学校と行ってもらいたい。少しの間でもいいから話を聞いて、先生に話を聞いてもらって良かったと思って帰ってもらえると素敵な事だと思う。

#### ○今城市長

他にご質問ご意見ないようなので、事務局からの説明は終わらせてもらう。引き続き皆さまから色々な助言をいただきたいとありがたいと思う。

本日は、多くの貴重なご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。

## 5. 閉会